

ふただ

二田小学校だより

ホームページ <http://www.kenet.ed.jp/futada/>

※ホームページの「学校からのお知らせ」を日々アップしています。ぜひ、ご覧ください。



柏崎市立二田小学校

柏崎市西山町長嶺 1718 番地 Tel.48-2054

令和3年3月2日 342号



「ありがとう」がいっぱいの二田小学校に

校長 関原 るみ子

先日、消毒ボランティアの方から、こんなうれしいお話をいただきました。

「消毒作業をしていると、子どもたちが『ありがとうございます』と言ってくれます。それが、気持ちのこもった『ありがとうございます』で、とても嬉しい気持ちになります。大人でもなかなか『ありがとう』が言えないのに、それが自然に言える二田小学校の子どもたちは、素晴らしいですね。」

このことがとても嬉しかったので、2月22日の全校朝会で子どもたちに伝え、加えて、次のことを話しました。

『ありがとう』の反対語は、『当たり前』です。『ありがとう』のもとになる言葉は、『有難し』。有ることが難しいということです。難しいの反対は易しい。だから、『有難し』の反対語は、『有り易し』。有ることが簡単ということです。つまり、『当たり前』ということです。消毒をしてもらう、給食を食べられる、スクールバスで通う、毎日学校へ通う…当たり前と思っていることは、本当は『当たり前』でなくて、本当は『有難い』ことです。だから、『ありがとう』と感謝の気持ちをもたないといけません。でも、『ありがとう』と思っているだけでは、感謝の気持ちは伝わりません。『ありがとう』と感謝の気持ちを声に出して伝えましょう。もっともっと『ありがとう』がたくさん聞こえる二田小学校にしましょう。」

「ほめること」は、なかなか難しいものです。ほめられた方も素直に受け入れられない時もあります。しかし、「ありがとう」ならそれほど構えなくても、ささいなことに対しても気軽に言えます。また、言われた方もいい気分になります。ですから、私はささいなことでも「ありがとうございます」と言うように心掛けています。朝、玄関ロビーで検温する時、「ありがとうございます」と言ってくれる子どもが増えました。その言葉を聞いた時に、「今日もがんばろう」という気持ちが高まります。「ありがとう」には、不思議な力があるようです。

さて、令和2年度卒業証書授与式まで20日余りとなりました。1～5年生は、6年生への感謝の気持ちを、看板やメッセージなどの掲示物、給食時の放送で伝えてきました。これらは、5年生が中心となって計画し、準備を進めてきました。その締めくくりとして、2月26日(金)に「6年生に感謝する会」を行いました。どの学年の発表も6年生への「ありがとう」の言葉と気持ちがあふれていました。また、6年生からも後輩たちへ、感謝の言葉と気持ちがたくさん伝えられました。とても感動的な、心が温まる「6年生に感謝する会」になりました。

コロナ禍、夏の猛暑、冬の豪雪と波乱の令和2年度が終わろうとしています。大変なことが多い1年でしたが、子どもたちは健やかに育っています。それは、保護者の皆様、地域の皆様が子どもたちをしっかり見守り、育んでくださったお陰です。心を込めてお礼を申し上げます。「ありがとうございました。」

受け継がれる伝統～6年生から在校生へ～

卒業式まで、1か月足らずとなりました。6年生から在校生に様々な伝統が受け継がれる時期です。委員会の引継式では、委員長から在校生に託す思いが語られた後、新委員長に活動ファイルが引き継がれました。学校の円滑な運営に向けて、今度は4・5年生が力を合わせて頑張ります。

移杖式では、6年生のドラムメジャーから、5年生の新ドラムメジャーに指揮杖が渡されました。それぞれの楽器も新しい演奏者に渡され、新メンバーで二田小学校校歌を演奏しました。



ありがとうの気持ち～在校生から6年生へ～



趣向を凝らした各学年の出し物の中に、感謝の気持ちがあふれていました。感動の渦の中、六年生に感謝する会は幕を閉じました。

3月の行事予定

- 1日(月) 地区子ども会
- 2日(火) 若草朝会 ゆめクラブダンス 音楽課外
- 3日(水) 委員会
- 4日(木) 音楽課外
- 8日(月) 笑顔であいさつ強調週間(～12日)
- 9日(火) 音楽課外
- 11日(木) 音楽課外

- 16日(火) 音楽課外
- 17日(水) 移動図書館(返却のみ)
- 18日(木) 5限後下校
- 19日(金) 5限後下校
- 22日(月) 5限後下校
- 23日(火) 後期終業式 卒業式練習(予行)
- 24日(水) 卒業式(在校生は5年生のみ参列)
- 25日(水) 離任式 春休み開始